

令和 6 年 5 月 29 日  
学校法人 大乘淑徳学園

## 令和 5 年度の資金運用結果について

令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症が「5 類」に位置づけられ社会経済活動の正常化が進みました。ロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響などから日常生活に密接なエネルギー・食料品等の価格上昇が続きました。

世界の主要中央銀行はインフレ抑制重視の姿勢を鮮明にし、金融引き締め動きを加速しました。日本では大規模な金融緩和を継続しましたが、消費者物価の上昇率 2%超が続く中で、日銀はイーロドカーブコントロール (YCC) の修正など金融政策の正常化に向けた取り組みを行い、3 月の金融政策決定会合でマイナス金利政策を含む大規模緩和を解除しました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、令和 5 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に令和 5 年度の資金運用結果についてご報告いたします。

### 1 預金 (期末残高 90 億円)

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなかから、利率面で有利なところへ預け入れを行いました。日銀による金融緩和が継続するなかでの結果となりました。

運用益は 2,546 万円 (利回り約 0.23%) となりました。

### 2 社債 (期末残高 約 114 億円)

社債については、生命保険会社の債券を中心に運用を行いました。2 銘柄 6 億円が償還し、高利回りとなる生保の既発債 2 銘柄を含め 3 銘柄 10 億円を新規に購入しました。

運用益は 1 億 1,771 万円 (利回り約 1.03%) となりました。

### 3 金融債 (期末残高 約 30 億円)

金融債については、金融機関が発行した債券で運用を行いました。1%以上の利回りとなる大手銀行の債券 1 銘柄 5 億円を新規に購入しました。

運用益は 2,862 万円 (利回り約 0.95%) となりました。

### 4 その他 (期末残高 43 億円)

保有する債券で運用を行いました。また、クレジットリンク債 1 銘柄 6 億円が償還しました。

運用益は 4,621 万円 (利回り約 1.07%) となりました。

以 上